

2. ダチョウの飼育体制及びスケジュール

◆ダチョウの飼育及び繁殖

種鳥→南アフリカ産→60羽(雄20羽、雌40羽)→採卵、ふ化、飼育

◆体験型観光施設(現在検討中、平成13年度以降順次)

動物とのふれあい→ダチョウの他、馬など

体験観光→手作り加工体験、ミニ収穫体験、トレッキング、レンタサイクルなど

飲食→バーベキュー、「大地鳥」商品など

販売→「大地鳥」商品、ダチョウ関連グッズなど

3. PB商品「大地鳥(だいちどり)」

事前効果PRとして27日に「とんちゃんジャーキー」を発売、加えて輸入肉を加工したダチョウPB商品「大地鳥(だいちどり)」のブランドで発売。

「大地鳥(だいちどり)」商品バリエーション

- ① 大地鳥ソーセージ3種……プレーン、ギョウジャニンニク、キムチ
- ② 大地鳥ハム2種……プレーン、バストラミ
- ③ 大地鳥ジャーキー

(会報担当者：増山 正 委員)

◎ 出席報告

会員数	55名	出席率	函館北	10月27日	82.69%
出席	26名		函館東	10月26日	73.75%
欠席	29名		函館	10月21日	79.59%
他クラブ出席	17名		函館五稜郭	10月22日	95.71%
出席合計	43名		函館亀田	10月25日	83.33%
除外者	3名				

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・12月1日
プログラム

「年次総会」



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

1999~2000年度 国際ロータリーテーマ

ロータリー2000:
活動は一堅実
信望・持続

ROTARY2000:ACT WITH
CONSISTENCY, CREDIBILITY,
CONTINUITY

小池 凌一 会長テーマ 『友 愛』



11月17日卓話 木村 一郎氏

《第1752回例会》 第18回 11月24日(水)

本日のプログラム

「預金保険について」

日本銀行 函館支店長 清水 雅志氏

★会長 小池 凌一

★幹事 阿相 義則

例会場:函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 事務局:函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

1999~2000 〈第1751回例会〉第17号

11月17日の記録

◎司 会 小池 凌一 会長 ◎斉 唱 手に手つないで

◎ゲ ス ト J R北海道 函館支社長 木村 一郎 氏

◎ビ ジ タ ー 函館R.C. 日下部博久君、函館五稜郭R.C. 広川政己君

◎会 長 報 告 小池 凌一 会長

○新入会員の紹介

高野 義雄 氏 推薦者：松橋会員

成瀬 一徳 氏 推薦者：松見会員 紹介者：大和会員

所属委員会は、高野会員が親睦委員会、成瀬会員が会報委員会です。

○11月14日の函館五稜郭R.C. 主催のクラブ合唱団結成チャリティー発表会が開かれ、会長・副幹事で出席してきました。函館五稜郭R.C. よりお礼状が来ております。

◎委 員 会 報 告

●友好クラブ委員会 新 博夫 委員長

千葉港R.C. 15周年記念式典に当クラブメンバー23名で参加します。

出発は11月19日です。

●職業分類委員会 藤田 正男 委員長

現在当クラブの職業分類の見直しを行っています。変更のある会員は、11月24日事務局まで連絡して下さい。12月1日の理事会で決定します。

◎幹 事 報 告 阿相 義則 幹事

○今月25日に地区GSE委員長、委員の方が来函され、来年行われるGSE受け入れについて打ち合わせ会を開催致します。

○11月25日(木)函館R.C. は早朝例会に変更となっております。

○千葉港R.C. 和歌山城南R.C. よりクラブ会報が届いておりますので回覧します。

○本日予定の理事会は中止します。

◎親睦活動委員会 川村 宏人 委員

ニコニコBOX投入報告

新 会員……本日結婚記念日です。

中野 会員……BOXに協力。

小笠原会員…… ”

大和 会員……新入会員の成瀬さんを紹介させていただきます。

小池 会長……千葉港R.C. に行ってお参ります。

中川 会員…… ”

広多 会員……ゲストスピーカーの木村支社長を歓迎して。

澤田 会員……BOXに協力。

片桐 会員……欠席がちのお詫びと結婚月です。

加藤 会員……BOXに協力。

松橋 会員……新入会員の高野さんをご紹介させていただきます。

藤田 会員……今年もあと1ヶ月、がんばります。

沢井 会員……久しぶりにゴルフで賞金を稼ぎました。

◎卓 話 「J Rとダチョウビジネス」 J R北海道 函館支社長 木村 一郎 氏

J R北海道及び北海道企画開発は、両者が所有する七飯町大沼地区用地において、観光客の誘致と地域の活性化を目的に、ダチョウを目玉とした自然体験型観光施設の開設を計画しております。

この施設では、数百羽規模のダチョウの飼育を予定しているため、開設に先立ってダチョウの繁殖を開始することにしました。また、繁殖にあわせて開設時の誘致効果を高めるため、事前にPRの一環としてダチョウのPB商品「大地鳥(だいちどり)」を発売しております。

1. 自然体験型観光施設計画

◆旅行形態の変化

見る観光→体験型ツアー(自然や動物とのふれあいなど)

◆地域の活性化に貢献

通過型観光地→長期滞在型(自然体験型観光施設の展開)

◆環境との共生

北海道の大自然の活用、環境への適応力、糞尿が少なく悪臭もない